

# 由布市に住む。



## 子育てと仕事の両立を めざして移住

山女や温泉が点在する自然豊かな由布市へ2021年に移住された山崎さん一家。夫婦で、「農のある暮らし」をテーマに、自身で育てたお米や野菜を使用したランチと手作りケーキやドリッブコーヒーなどを提供するカフェ



### Yamazaki's Family

山崎 敬祐さん (43)  
志乃さん (42)

福岡県から由布市へ移住。自分たちで育てたお米や野菜をつかった料理や、手作りケーキ、ドリッブコーヒーなどを提供するカフェを営んでいます。

カフェを営んでいる。昔住んでいた福岡県では夫婦ともに会社に勤め、ことものお迎えの時間がぎりぎりになってしまふことがあるくらい忙しい毎日を過ごしていたという。「このままでは、子育てと仕事の両立ができない」と感じ、志乃さんの故郷である由布市抜間町への移住を決意。「福岡に住んでいたときは、ドアを開けたら目の前は道路だし、家同士の距離が近いので、気を遣わないといけないことが多かった。妻の実家がある由布市に帰省するたび、子どもが楽しそうに外を走り回っている姿を見て、こういうところに住めば、子どももこのびび成長できるだろうと感じた」と話す。小学校に入学する前に移住した方が友達



## 農のある暮らし方

「いわゆる『田舎暮らし』は初めてで、最初は分からないこともたくさんあった。特に移住したらやりたいと思っていた米作りや野菜作りは、その土地、その土に適した方法でやる必要があるの、昔から農業をしている義理のお父さんにゼロから付きっきりで指導をしてもらいました」と笑顔で話す。今では「お米、なす、だいこん、さつまいもなどカフェで使う食材は、できるだけ家族で育てている。

も増えるだろうと考え、息子さんが小学校に上がるタイミングで由布市へ移住した。



「スーパーなどで買った野菜を食べていた自分たちからすると、食材の味が濃くて、感動するほどおいしい。県外からも多くの方がお店に来てくれるが、みんなおいしいと言ってくれる。生産者の顔、そのお米や野菜を育てている畑を目の前に見ながら食べるランチは格別だ。

## 地域に根ざした経営でみんなから愛されるカフェに

「このカフェを長く続けるために、ここから見えない由布岳は、豊後富士と呼ばれていて、四季折々の風景を楽しむことができた。忙しい日常に『ほっ』と落ち着ける場所をみなさんに提供していきたい」と話す。地元の方をはじめ、市外や県外からもお客さんが多く訪れるこのカフェ。食を通して、人と人、人と由布市をつなぐ重要な役割を果たしている。

# 日出町に住む。



## Akanuma's Profile

赤沼 翼さん (41)

2022年に東京から日出町に移住した赤沼さん。テレワークでお仕事をしながら、日出町での暮らしを満喫されています。

## 北海道と正反対の 気候を求めて

外資系IT企業で人事を担当している赤沼さん。会社は



東京だが、日出町に住むリモートワークで働いている。働き方改革により、居住地が限定されない、よりフレキシブルな働き方が取り入れられたことが移住を考えさせたきっかけ。北海道夕張市出身の赤沼さんだが、雪のない東京に慣れてしまふと、再び北海道で雪のある生活に戻れないと思ってしまうという。そこで、思い切って正反対の土地をと九州に移住先を選んだ。「地元の夕張は山の中だったの、すぐ近くに別府湾がある環境が新鮮だった」と話す赤沼さん。年齢を重ねて、温泉にも魅力を感じてきたこととあり、別府を移住先として家探しを始めたが、住環境や閑取りなどが希望に沿う物件がなかなか見つからなかった。そんな中で目についたのが隣の日出町だったという。

民間の不動産会社で良い物件が見つかったことも大きく、4月ごろに移住を意識し、8月に賃貸契約。9月には大分によってきたスピード移住だった。

## 地場の野菜と温泉 そして別府湾

お母様と2人暮らしの赤沼さんは昔から料理が趣味で、2人分の夕食も赤沼さんが作っている。日出町では、どのスーパーでも採れたて新鮮な野菜を買うことが出来るほか、北海道や東京では見たことがない魚も多くあり、料理をするのがとても楽しいとのこと。「特に鯛がぶりぶりであり、美味しい」と話してくれた。また、東京にいたころは意識していなかったカボスもよく使うようになったそう。みそ汁やハイボールに入れるほか、様々な料理に隠し味として使っている。また、自炊だけでなく、町内の飲食店にもよく行くらしい。また訪れたことが無い店もあり、行くことを楽しみにしているというのだ。

料理以外に、ランニングや温泉も趣味とのこと。東京にいた頃から続いているランニングは、別府湾沿いの城下遊歩道を中心に、その日の気分をコースを決めている。自分を鍛えなおしたいときは勾配の厳しいコースを選ぶらしい。温泉については、大分に來てすぐに別府八湯温泉道のスパ

ポイント入手し、温泉道名人をめざしている。町内のお気に入りにはホテルラージュ大分。日出で、月に2回ほど通っているそうだ。

「自然は豊かだけれど、利便性はよい」「ちょうど良いサイズの田舎」

## 宿泊費補助制度を活用して、ひじ暮らしを体感!

移住定住を目的とする活動を行うために町内の宿泊施設を利用する方を対象とした「ひじ暮らし体験宿泊費補助金」を利用して、日出町を体感してみてください。また、空き家バンク制度、県外からの移住者への補助制度などの支援もありますので、ぜひ日出町にお越しください。

日出町役場 まちづくり推進課  
〒879-1592 大分県日出町2974番地1  
TEL 0977-73-3158  
E-mail hijigurashi@town.hiji.lg.jp



移住定住情報

## 暮らし実感 日出町はこんなまち

町の担当者から

## 移住を希望される方へ

日出町は、人口約28,000人、面積73.26km<sup>2</sup>のコンパクトシティです。大分県中部、温泉で有名な別府市の隣に位置し、南向きで日当たりのよい温暖な気候の街です。サンリオキャラクターのテーマパーク「ハーモニーランド」や名産の「城下かれい」が有名なほか、水がきれいで、複数の湧水スポットが存在します。



日出は水資源が豊富な町で、上水道の多くが良質な湧き水で満たされているほど

Advice & My Favorite

## 暮らし実感 由布市はこんなまち

山崎さんから

## 移住を希望される方へ (アドバイス)

1週間でもその地域で生活をして、その地域の雰囲気や文化などを体感してみるといいと思います。由布市の実家に何度も訪れていたため、移住する前からこの地域の雰囲気を知ることができ、移住を決断することができました。最初は住みたい地域にある、まちづくり協議会や農泊などを活用しながら現地の人から情報収集してみるのもいいかと思いますが、もし由布市に移住したいということがあれば、私でよければいつでもご案内します。



Advice & My Favorite